

子規の川虚子の山あり鳥わたる

藤田湘子

平成二年作。「松山二句」の前書があり、「木の實落つ愚陀佛庵の軒といはず」の句と共にある。この年九月には、子規記念博物館での講演。十月には、NHKBS俳句第一回に出演。松山に続けて行っている。

当時はBSアナログ放送が始まったばかりで、各家庭に普及するにはまだ少し時を要する頃。先生の出演する番組を何とかリアルタイムで見たいと、近所のホテルの一室を借りた。ドキドキしながら、ワイワイ言いながら待ったが、いざ始まると、正座して見た記憶がある。

私達が興奮したように、先生も第一回出演に対する期待があつたのだろう。俳都松山への挨拶の心が、「子規の川虚子の山」への挨拶の句となつたのだと思う。

1990年(52作) 第九句集『前夜』 鑑賞・野本京